句

ことわざと慣用句

# 故事成語

こたえ（おうちの かたへ） ・ この かみは べつに いんさつ




## こたえ

- 1

  (1) ㋒（どんな たても つき通す ほこと、どんな ほこも 防ぐ たてを 売ろうと した 人の 話）

  (2) ㋔（戦いで 五十歩 にげた 兵が、百歩 にげた 兵を 笑った 話）

  (3) ㋑（へびの 絵を 早く かき終えた 人が、足まで かき足して 負けた 話）

  (4) ㋓（しぎと はまぐりが 争って いる 間に、漁師が 両方とも とった 話）

  (5) ㋐（詩の 一字を「おす」に するか「たたく」に するか、なやみ続けた 人の 話）

  (6) ㋕（川を 後ろに して 陣（じん）を しき、にげ道を なくして 戦った 話）

  (7) ㋖（天が 落ちて こないかと、ずっと 心配して いた 人の 話）

## みてあげる ところ

- 意味: 矛盾＝つじつまが 合わない こと／五十歩百歩＝少しの ちがいで、どちらも あまり 変わらない こと／蛇足＝よけいな 付け足し／漁夫の利＝二人が 争う すきに、ほかの 人が 得を する こと／推敲＝文を 何度も 練り直す こと／背水の陣＝もう 後が ない 気持ちで 取り組む こと／杞憂＝しなくて よい 心配。



書体: Klee One（SIL Open Font License）

句

ことわざと慣用句

しょうがく5ねんせい ・ こくご ・ k5-62

# 故事成語を 文に 使おう

こたえ（おうちの かたへ） ・ この かみは べつに いんさつ




## こたえ

- 1　(1) ㋑ 矛盾（むじゅん）　(2) ㋒ 五十歩百歩　(3) ㋐ 蛇足（だそく）
  (4) ㋑ 漁夫の利　(5) ㋒ 推敲（すいこう）　(6) ㋐ 四面楚（そ）歌
  (7) ㋐ 背（はい）水の陣（じん）　(8) ㋐ 杞憂（きゆう）

## みてあげる ところ

- 四面楚歌は「まわりが みんな 敵や 反対する 人ばかりで、味方が いない こと」です。



書体: Klee One（SIL Open Font License）

句

ことわざと慣用句

しょうがく5ねんせい ・ こくご ・ k5-63

# 数字の 入った 四字じゅく語

こたえ（おうちの かたへ） ・ この かみは べつに いんさつ




## こたえ

- 1　(1) 一・二　(2) 十・十　(3) 四・八　(4) 七・八　(5) 三・四　(6) 千・万　(7) 一・千　(8) 百・百

## みてあげる ところ

- 読み: いっせきにちょう・じゅうにんといろ・しくはっく・しちてんはっき・さんかんしおん・せんさばんべつ・いちじつせんしゅう（いちにちせんしゅう）・ひゃっぱつひゃくちゅう。



書体: Klee One（SIL Open Font License）

句

ことわざと慣用句

しょうがく5ねんせい ・ こくご ・ k5-64

# 四字じゅく語の 意味

こたえ（おうちの かたへ） ・ この かみは べつに いんさつ

漢字の 意味を
手がかりに



## こたえ

- 1　(1) ㋑（自分の した ことの むくいを、自分が 受ける）
  (2) ㋔（言葉に しなくても、気持ちが 通じ合う）
  (3) ㋐（名前ばかりで、中身が ともなわない）
  (4) ㋒（本当か どうか、決めかねて 迷う）
  (5) ㋕（気を ゆるめると 思わぬ 失敗を する）
  (6) ㋓（すぐれた 人は、時間を かけて 力を つけ、後から 大きく 成功する）
  (7) ㋖（何人かの 人が、心を 一つに する）
  (8) ㋗（前置きを せず、すぐに 大事な ことに 入る）

## みてあげる ところ

- 読み: じごうじとく・いしんでんしん・ゆうめいむじつ・はんしんはんぎ・ゆだんたいてき・たいきばんせい・いっしんどうたい・たんとうちょくにゅう。



書体: Klee One（SIL Open Font License）